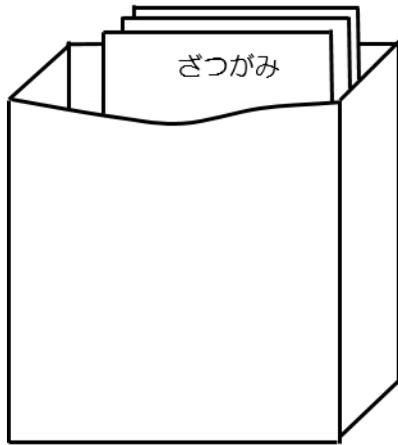
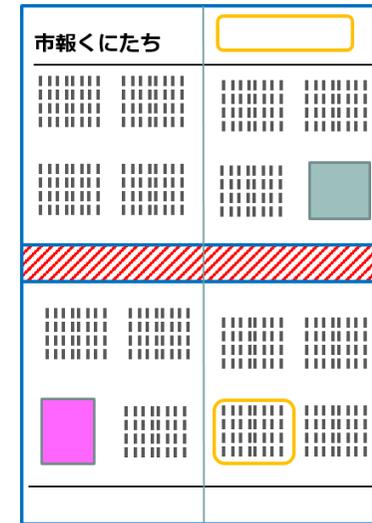


# ざつ 雑がみ用紙袋の作り方

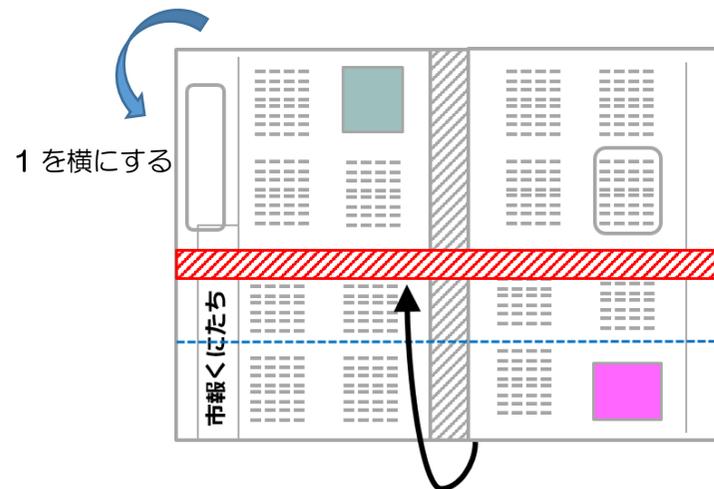


必要なもの：市報2枚、のり

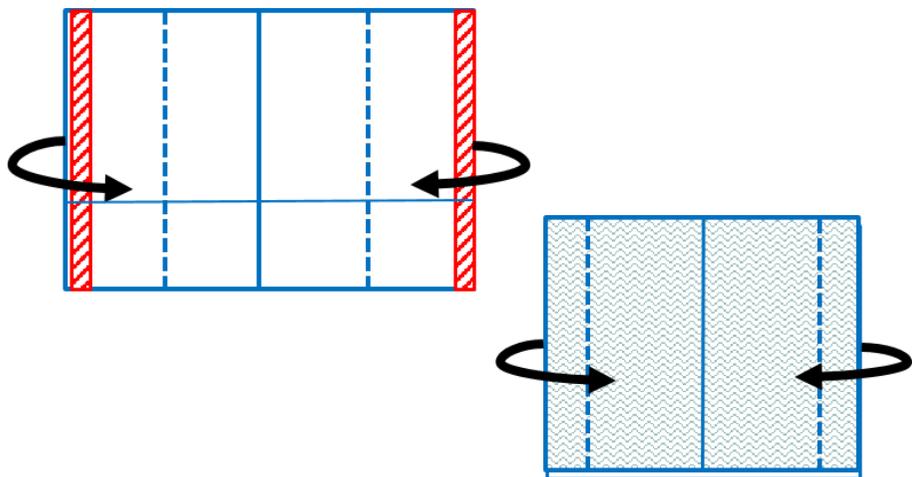
1 市報を見開きして縦に2枚、3 cmほど重ねて貼ります。



2 中心の線まで下半分を点線で折ってのり付けします。



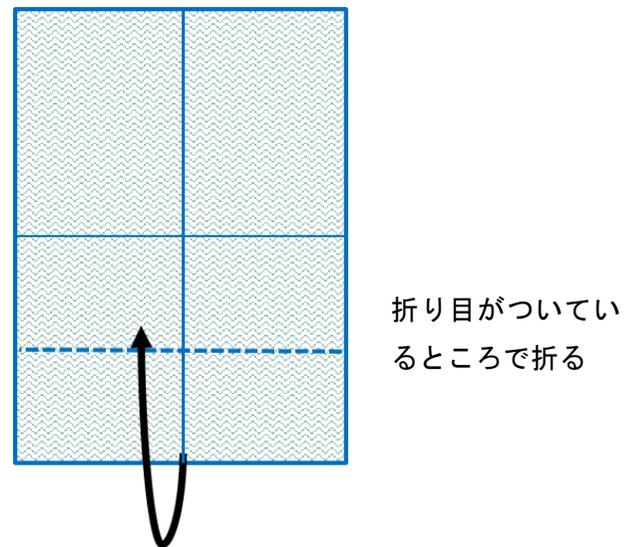
- 3 両端を折り返し、3 cmほど重ねて貼り、筒状にします。  
マチの部分を作るため、両端を5 cmほど折ります。



- 4 3で折った部分を戻し、写真のように内側に折り、マチを作ります。



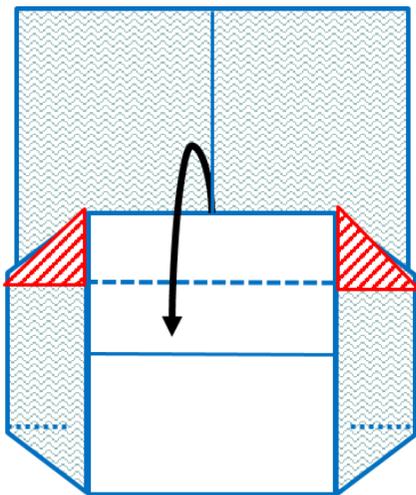
- 5 底の部分を作るため、下から13 cmほど折ります。



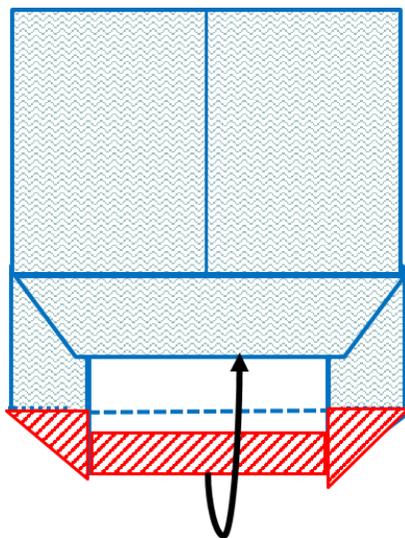
- 6 5で折った部分を戻し、写真のように袋状に広げます。



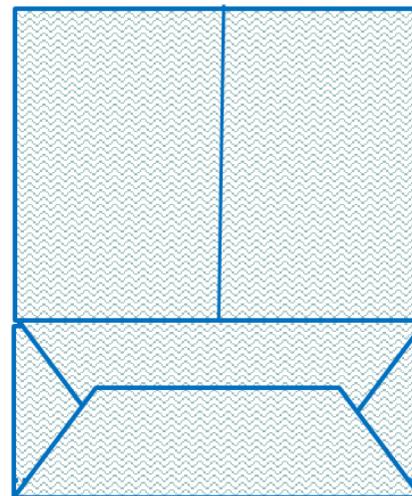
- 7 6で広げたところを下図のように折ります。  
上から点線のところで折って、赤い三角の部分のをりづけします。



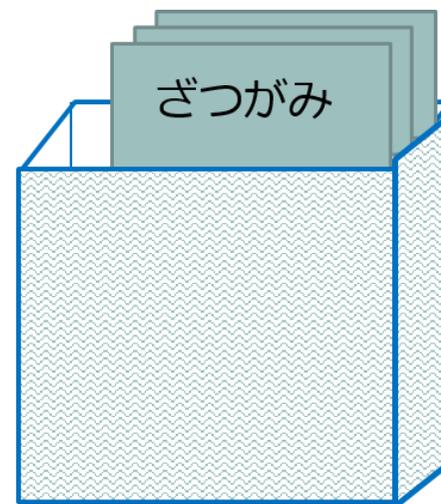
- 8 下も同じようにのりづけします。



- 9 できあがりです。



- 10 (幅 28 cm、高さ 32 cm、奥行 10 cm)



# 「雑がみ」は可燃ごみと分けて、 指定の日に出しましょう！

雑がみとは、「新聞紙」、「本・雑誌」、「段ボール」、「紙パック」以外の紙のうち、リサイクルできるもののことです。

## 雑がみの例

- ・紙箱
- ・紙袋
- ・チラシ
- ・プリント
- ・封筒(窓は取る)
- ・はがき
- ・包装紙
- ・緩衝材
- ・ノート
- ・カレンダー(金具は外す)

ただし、リサイクルできない紙類は「可燃ごみ」として出してください。

## リサイクルできない紙類の例

- ・汚れがついた紙  
(ティッシュペーパーなど)
- ・感熱紙  
(レシートなど)
- ・粘着物がついた紙  
(圧着ハガキやシールなど)
- ・カーボン紙  
(宅配便の伝票など)
- ・臭いがついた紙  
(洗剤の箱など)
- ・生ごみがついた紙  
(ピザの箱など)
- ・防水加工された紙  
(紙コップなど)
- ・カバンや靴の詰物
- ・その他特殊な紙